

平成23年度 福岡市立横手中学校 学校経営の基本的な考え方

校長 西村幸司

○ 平成22年度の課題

- ・ 学力が全国、福岡市等と比べ若干低位にある。
- ・ 時間励行・あいさつ・掃除等の状況に個人差がある。
- ・ 不登校生徒の割合、いじめの発生率が高い。
- ・ 人間関係づくりやコミュニケーション力が十分に身につけていない。

○ 23年度の重点目標と実現のための戦略

1 心の教育の充実

(1) 週1回ある道徳の時間を充実します。

- ⇒ 時事教材、「心のノート」「ぬくもり」等の資料の活用をすすめます。
- ⇒ 全校道徳や学年道徳を実施したり、担任以外の先生も指導したりします。
- ⇒ 道徳の時間の展開を工夫し、道徳の時間の指導の仕方について研修します。
- ⇒ 道徳的心情を高め、人の気持ちを考えるやわらかな心をはぐくみます。

(2) 学級、学年内の人間関係づくりの強化を図り、コミュニケーション能力を高めます。

- ⇒ 学級集団アセスメント（Q-Uテスト等）を実施し生徒の人間関係を適切に把握します。
- ⇒ ピアサポートなどや人間関係づくりのスキルの定着を図る手法について研修するとともに、学級・学年単位で具体的な実践をします。
- ⇒ 人権感覚が高まる環境構成を工夫します。

2 学習の基礎・基本の徹底

(1) 学習習慣が身につくようにします。

- ⇒ 「1日1ページ学習」を通した指導を、家庭と連携して徹底します。
- ⇒ 授業中に書くこと（ノート指導）を徹底させます。
- ⇒ PTAや小学校、家庭と連携したノーメディアへの取組を検討します。

(2) 生徒の学力を高めます。

- ⇒ 生徒の学力（学習習慣・意識等を含めて）についての分析を十分に行います。
学力向上推進プランを作成し、それに沿った指導を充実させます。
- ⇒ 各教科で、図書室、パソコン教室、e-ボードを年に1回は活用した授業を行います。

⇒ 夏休みや試験前の補充的な学習を行います。

⇒ あらゆる活動の中で、「聴く・考える・表現する」ということの意識化を図ります。

3 生徒指導の充実

(1) 時間励行, あいさつ, 掃除を徹底します。

⇒ 教師が率先垂範します。

⇒ 1学期は「部活動では complete」をめざします。

(2) 不登校・いじめへの対応, 未然防止策を充実します。

⇒ 徹底した家庭訪問 (2日欠席で家庭訪問)を行います。

⇒ 全職員で不登校生徒へのかかわりをすすめます。

⇒ 教育相談の充実, スクールカウンセラーの活用, 関係機関との連携を充実します。

(3) 問題行動に対して毅然とした態度で組織的に対応します。

⇒ わがままが認められない, 間違っていることは間違っているといえる雰囲気づくりに努めます。

⇒ 関係機関との躊躇ない連携を図ります。

(4) 一人一人の生徒が存在感, 満足感, 成就感を味わえる場をつくります。

⇒ 「できることはていねいに, できないことには挑戦を」ということを意識させます。

⇒ 部活動の充実を図り, 部活動集会を定例化させます。

(5) 生徒一人一人が将来設計をイメージできるキャリア教育を充実します。

⇒ 職場体験学習の充実を図ります。

⇒ 自分自身の生き方について考える「立志式」を実施します。

4 教職員の職能の向上, 地域等連携の充実

- ・ ポジティブに考え, 抱え込まずに攻めていく学校文化を全職員で創造します。
- ・ 教育公務員としての自覚を高め, 服務, 危機管理についての研修に努めます。
- ・ 学校評価を組織的・計画的に行い, 特に, 第三者評価を実施します。
- ・ 授業研究に計画的に取り組み, 指導方法の工夫改善に努め, 自らの指導技術を高めます。
計画的な教科の全体研究を実施するとともに, 道徳の時間の全体研究について検討します。
- ・ 特別支援学級「共同学級」において, 実態に即した教育課程となるよう工夫するとともに, 通常の学級に在籍する特別な支援を要する生徒の指導をていねいに行います。